2024 年度　関私教協　第 7 回幹事校会議事録

１．日時：2024 年 10 月 28 日（月）18:30～19:30
２．形態：オンライン会議
３．出席者：
【幹事】高瀬 幸恵（桜美林大学・事務局長）、尾高 進（工学院大学・事務局次長）、
岡田 佳子（芝浦工業大学・事務局次長）、山下 暁子（青山学院大学）、
黒住 早紀子（駒澤大学）、青木 研作（東京成徳大学）、
大家 まゆみ、河野 誠哉（東京女子大学）、黒沢 学（東京電機大学）、
木之下 健一、須藤 和代（目白大学）、白石 一徳（文化学園大学）、
森田 満夫（立教大学）、斎藤 遼太郎（茨城キリスト教大学）、
北村 篤司、横澤田 朋美（昭和音楽大学）、小澤 真紀（芝浦工業大学）、
福山 多江子、古橋 真紀子（東京成徳短期大学）
【事務担当】岩井 瑞恵（桜美林大学）
【オブザーバー】古賀 毅、山﨑 恭輔（千葉工業大学）、
大室 さおり、山口 賢（芝浦工業大学）、黒岩 友見子（桜美林大学）

４．2024 年度第６回幹事校会議事録の確認
高瀬事務局長より、第６回幹事校会議事録（案）が示され、これを承認した。

５．協議
【報告事項】
（１）研究部の活動について
・第１部会：特になし。
・第２部会：11 月頃に第３回目の研究会の開催を計画している。
・第３部会：第２回の部会を 10/17 にオンラインで開催した。世話人を含む 11 名が参加した。小松先生のご逝去を受けて、田辺基子先生が部会長代理を担うことについて承認した。副部会長については現在調整中である。
教員採用の早期化・複線化、カリキュラム改編等について事前アンケート調査を行い、18 大学から回答を得た。各大学が取り組んでいる課題などについて情報共有を行った。
・第４部会：10/12 にハイフレックス形式で部会を実施した。世話人を含め 11 名（対面６名、オンライン５名）が参加した。2024 年度の実習の実践と現状について各校に報告をしてもらい、質疑応答を行った。新規メンバーとして、川村学園女子大学の関本先生、淑徳大学の前先生が加わることとなった。次回は 2025 年 1/25 に第３回目の部会を予定している。
・第５部会：10/12 に第２回部会をオンラインで実施した。12 名が参加した。千葉県教育庁採用担当者を招き、千葉県の採用の状況について情報提供を受けた。次回は２月頃の実施を計画している。
・第６部会：11/19 にオンラインで部会を実施予定である。テキストマイニングの手法についてのディスカッションを計画している。
・第７部会：特になし。
・第８部会：11/2 に青山学院大学で部会を実施する予定である。１名のメンバーから別の部会への移動希望が寄せられている。
・千葉・茨城地域：2025 年 2/21 に第２回の研究会を実施予定である。茨城キリスト教大学を会場としてオンライン併用の形態で実施する。千葉県と茨城県の教育庁から講師を招き、育成指標に基づく教員養成と教員育成をどのように進めているのかについて講演をしてもらう予定である。
・神奈川・山梨地域：特になし。
・北部地域：10/24 に研究会をオンライン形式で実施した。北部地域における教員採用試験の早

期化・複線化をテーマとして埼玉県教育局の採用担当者を招き、情報提供を受けた。参加大学は20大学で、後半は大学間での情報交換を行った。

（２）『会報』第96号の編集について

・北村広報部長より、編集スケジュールに基づいて状況について報告があった。

・『会報』上の輪番表、会則の掲載ルールについて今後検討したい。

・12/14 の研究懇話会の写真撮影について未知の駅に連絡をした。次号の編集のための打ち合わせを１月下旬に持つ予定である。

（３）次期幹事校へのアプローチについて

・東京Aグループ：国際基督教大学に引き受けていただいた。これにてAグループは完了となる。

・これで次期幹事校会はすべてのグループ、地域で決定した。

（４）会費の振り込みについて

・事務局より、全会員大学の会費の振り込みが完了したとの報告があった。二重振り込みをした大学があったので、返金の手続きを取った。手数料は関私教協事務局が負担することとした。過去の例では、返金せずに翌年に繰り越すという対応をしたことがあったが、決算に注記が必要となるなどあまり望ましい対応ではないと判断した。

（５）東教協の情報交換会について

・高瀬事務局長より、東京地区教職課程研究連絡協議会の情報交換会が、11/9 に二松学舎大学にてハイブリッド形式で行われる旨の報告があった。

【審議事項】

（１）2024年度研究懇話会について

・青木研究部長より、研究懇話会の案内が発信された旨の報告がった。講師を囲んでの打ち合わせを９月にオンラインで実施し、11月中に二度目の打ち合わせを実施する予定である。

・高瀬事務局長より、会場の下見について報告があった。外部利用者のWi-fiの使用の手続きに関して確認を行った。

・その他、東北地区協議会と阪神地区協議会に研究懇話会の案内の発信を依頼したこと、研究懇話会終了後は講師を囲んでの食事会を実施することについて報告があった。

・高瀬事務局長より、同日に幹事校会が対面で実施される旨の報告があった。

（２）『関私教協30年の歩み』増刷について

・高瀬事務局長より、『関私教協30年の歩み』の印刷を担当した芳文社に尋ねたところ、データが残っていることが分かり、増刷の見込が立った旨の報告があった。見積を取ったところ、100部増刷で159,500円であった。事務局で予備を数冊保管する必要があるため、増刷を依頼したい旨の説明があった。また、研究懇話会で配布し、残部を希望者に送付するということを検討している。説明を受け、増刷について承認した。

・予算については、研究部や広報部の活動費各5万円に加え、不足分は事務局の予算から支出する提案がなされた。

（３）新規入会校について

・高瀬事務局長より、淑徳大学から二つ目の別キャンパスで入会申し込みがあった旨の報告があった。すでに臨時総会も終わっている状況であるが、本年度内での入会を希望されている。入会について承認した。

【配付資料】

資料１：『会報』第96号編集スケジュール

資料２：会長校・幹事校輪番表

資料３：関私教協2024年度研究懇話会

資料４：見積書（芳文社）

資料５：別キャンパス会員校入会申込書

以上